

もう10年も前になりますが、北陸新幹線の金沢延伸に関する仕事に携ったことがあります。当時、すでに工事が始まっていた長野から富山までの着工区間を金沢まで延伸し、約230kmの長野～金沢間を同時開業するというので、需要予測や経済波及効果など様々な議論が行われました。

東京～金沢間の移動時間が4時間から2時間半に短縮され、経済波及効果は何千億円以上にも上る——そんな議論を目の当たりにして、新幹線の整備が社会に与える影響の大きさに驚いたものです。

さて、今月号の特集は「鉄道を取り巻く社会と技術の動向」です。新幹線の整備に伴う高速鉄道網の拡大が社会に与えるインパクトや、安全・災害・エネルギーなどの鉄道を取り巻く様々な課題について最近の動向に関する調査結果を紹介しました。

次号は「鉄道の将来に向けた研究開発」を特集します。鉄道総研の前基本計画RESEARCH2010(平成22年度～平成26年度)に基づき、過去5年間にわたり実施してきた鉄道の将来に向けた研究開発の成果を紹介します。ご期待ください。(M.S.)

■2015年5月号の訂正とお詫び

RRR誌2015年5月号に誤植がございました。ここに訂正してお詫び申し上げます。

頁	記事	箇所	誤	正
8	ガス圧接でレールをつなぐ	図1	2014年度	2012年度
38	鉄道技術用語辞典より	タイトル	車体構体各部の名称	車両構体各部の名称